

第 66 期

株 主 通 信

(2018年9月1日から
2019年2月28日まで)

暁飯島工業株式会社

株 主 の 皆 様 へ

暁飯島工業株式会社

代表取締役社長 荻 津 仁 彦

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに当社第66期上半期（2018年9月1日から2019年2月28日まで）の営業の概況等をご報告申しあげます。

営 業 の 概 況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に企業収益、雇用環境及び個人消費も底堅く推移するなど緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国政権の政策内容や保護主義傾向への懸念、地政学的リスクなど先行き不透明感が残る状況が続いております。

建設業界におきましては、政府建設投資及び民間建設投資は一定の水準を維持しておりますが、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇により受注競争が激化し、依然として厳しい経営環境が続いております。また、長時間労働等、働き方改革及び生産性向上への取り組みは業界全体での課題となっております。

このような状況のもと、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの諸施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、受注高は前年同四半期比18.6%減少の29億83百万円となりましたが、売上高は前年同四半期比21.6%増加の37億86百万円となりました。

損益面におきましては、売上高の増加及び工事利益率の向上などから、営業利益は前年同四半期比67.0%増加の3億71百万円、経常利益も同じく63.6%増加の3億74百万円となりました。最終損益につきましても、前年同四半期比48.9%増加の2億57百万円の四半期純利益となりました。

通期の見通しにつきましては、売上高81億円、営業利益6億20百万円、経常利益6億20百万円、当期純利益4億20百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

会 社 の 概 況 (2019年2月28日現在)

会 社 名	暁飯島工業株式会社 (英文名称 AKATSUKI EAZIMA CO., LTD.)
設 立	1965年(昭和40年)6月1日
資 本 金	1,408,600,000円
従 業 員 数	120名
主要な事業内容	① 空気調和、衛生給排水、恒温恒湿、冷凍冷蔵、厨房等建築設備の設計・施工 ② リニューアル工事の調査・設計・施工、ビルの総合診断(建築、設備、電気) ③ 各種建築設備の保守・点検、定期点検及び常駐メンテナンスサービス ④ 太陽光発電、不動産の売買・賃貸
主要な営業所	本 社 : 茨 城 県 水 戸 市 東京支店 : 東 京 都 台 東 区 つくば支店 : 茨 城 県 つ く ば 市

取締役及び監査役 (2019年2月28日現在)

代表取締役社長	荻 津 仁 彦
取 締 役	吉 田 孝 夫
取 締 役	植 田 俊 二
取 締 役	長 野 正 紀
常 勤 監 査 役	大 森 健 雄
監 査 役	根 本 幸 司
監 査 役	春 日 均

(注) 取締役長野正紀氏は社外取締役、監査役根本幸司氏及び春日均氏は社外監査役であります。

四半期財務諸表

四半期貸借対照表 (2019年2月28日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	5,574	流 動 負 債	3,562
現 金 預 金	3,835	支払手形・工事未払金等	2,062
受取手形・完成工事未収入金等	1,564	短 期 借 入 金	380
未成工事支出金	173	一年内返済予定の長期借入金	250
そ の 他	21	一年内償還予定の社債	80
貸倒引当金	△ 21	未払法人税等	129
固 定 資 産	3,073	未成工事受入金	527
有形固定資産	2,687	完成工事補償引当金	2
建物・構築物	247	賞与引当金	65
機械及び装置	124	そ の 他	64
土 地	1,868	固 定 負 債	828
そ の 他	447	社 債	150
無形固定資産	21	長 期 借 入 金	587
投資その他の資産	364	退職給付引当金	89
投資有価証券	311	そ の 他	2
繰延税金資産	34	負 債 合 計	4,390
そ の 他	97	(純資産の部)	
貸倒引当金	△ 78	株 主 資 本	4,295
資 産 合 計	8,647	資 本 金	1,408
		資 本 剰 余 金	3
		利 益 剰 余 金	3,061
		自 己 株 式	△ 178
		評価・換算差額等	△ 39
		その他有価証券評価差額金	△ 39
		純 資 産 合 計	4,256
		負 債 純 資 産 合 計	8,647

四半期損益計算書 (2018年9月1日から2019年2月28日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		3,786
売 上 原 価		3,195
売 上 総 利 益		590
販売費及び一般管理費		218
営 業 利 益		371
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	2	
仕 入 割 引	1	
受 取 地 代 家 賃	4	
貸倒引当金戻入額	7	
そ の 他	2	18
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	10	
投資有価証券売却損	3	
投資有価証券評価損	0	
そ の 他	0	15
経 常 利 益		374
税引前四半期純利益		374
法人税、住民税及び事業税	117	
法 人 税 等 調 整 額	△ 0	117
四 半 期 純 利 益		257

四半期キャッシュ・フロー計算書 (2018年9月1日から2019年2月28日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 374
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 403
現金及び現金同等物の期首残高	4,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,882

受注及び売上の状況

受注実績（累計）

（単位：百万円）

区 分	2018年9月1日から2019年2月28日まで	
	金 額	構 成 比
設 備 事 業		%
建築設備工事	1,432	48.0
リニューアル工事	1,503	50.4
土木工事	—	—
プラント工事	—	—
ビルケア工事	47	1.6
設備事業合計	2,983	100.0

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

売上実績（累計）

（単位：百万円）

区 分	2018年9月1日から2019年2月28日まで	
	金 額	構 成 比
設 備 事 業		%
建築設備工事	1,594	42.1
リニューアル工事	2,007	53.0
土木工事	—	—
プラント工事	—	—
ビルケア工事	167	4.5
設備事業合計	3,769	99.6
その他の事業		
太陽光発電事業	16	0.4
不動産事業	0	0.0
その他の事業合計	16	0.4
合 計	3,786	100.0

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

株 主 メ モ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月中
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
〔郵便物送付先〕	〒168-8620
〔お問合せ先〕	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部  0120-707-843
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載ホームページアドレス (http://www.eazima.co.jp/)

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続き用紙のご請求はインターネットでもお受けいたしております。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

